

# 今年の講習會

—主催 日本幼稚園協會—

夏期保育講習會は、七月二十一日から二十六日迄の六日間、本校の講堂で開かれた。大正十五年四月に幼稚園令が公布されてから今年でもう十年になるさいふ、それで今年はこの講習會の第一日を幼稚園令公布十周年記念講演の日にあてられることになつたのである。

この日天気快晴、今日土用入りの暑さは格別ながら、この季節には暑きこそよけれ。集まれる會員六百餘人、特に記念講演のために來會された人もあつて、溢るゝばかりの盛況である。互ひに日ごろは深い交りまでもなく、中には名さへ相知らぬ仲ながら、保育の講習を機會に年に一度づつ相遇ふ人々、眼に笑み交しつゝ語ることもなく親しさのましてゆくのも、志を同じうすればこそ。十周年記念を祝ひつゝも、展<sup>の</sup>びひらきゆく保育道は我等の力よりさいふ勁き意氣をそこゝに見るのであつた。

## 記念講演(二十一日午前)

(講演順)

挨拶 東京女子高等師範學校校長 下村壽一君  
本會會長

講演 東京文理科大學長 森岡常藏君

講演 國民精神文化研究所長 關屋龍吉君

講演 文部省參事 山楸儀重君

講演者諸氏は定刻前すでに來會されて、この日特にお招きした吉岡前會長や倉橋主幹と校長室で談を交はされてゐるのは、公布當時の思ひ出でもあつたらうか、折々洩るゝ笑聲に和やかさの満ちみちてゐる有様が、廊下を歩きながらも心愉しく偲ばれるのであつた。

記念すべき講演會は下村會長の挨拶に始つた。この會長は常々幼稚園のことに深い關心を持ち、わが國幼稚園界の

大勢については廣い知識を持つて居られる。その點日頃我  
我保姆が何かミ教へられてゐるミ共に力づよくお繼りして  
ゐる方で、名實共に得がたき會長であるミを喜ばずには  
居られない。

講演の始めはまづ森岡常藏氏から。今は文理科大學長で  
あるから直接幼稚園の事に當られる折も少ないであらう  
が、事一たび保育に觸れる時は、今なほいきいきとした抱  
負を常に心に深く持つて居られるのである。わが國の幼稚  
園が、まだほんミうに微々たる存在ミして世の注目を惹か  
なかつた明治三十年代に、すでに特にこの價値を認めて  
一つの意見を持つて居られたミ聞く。人々の未だ顧みよう  
ミもしなかつたこれに關する諸記録なミも、手許に書き寫  
して居られて、それが今尊い文獻になつたなミの事から思  
つて見ても、直接に事に當られたミいふよりも、三十餘年  
も前から促し促し先鞭をつけて來られた恩人であるミ思は  
ず居られない。全國から集つた多勢の會員を前にして今  
日この盛會を見られるミは、氏も亦その功の空しからざ  
りしを歡ばれたミミ思ふ。

つゞいて關屋龍吉氏。當時普通學務局長ミして運動員の  
激しき挑戦に矢面に立たれた最も直接の人である。別項記  
事にもある通り、幼稚園令が如何にして公布されるに至つ  
たかの經過を今更のやうにはつきりミ知つたのである。岡  
田文部大臣が幼児教育の必要も尊さも知り過ぎる程諒解さ  
れてゐても、大臣ミしての急務はそればかりではない、ミ  
すれば猛烈な運動員ミ、容易に動かし難き大臣ミの間に挟  
まれた關屋氏の、いさゝか迷惑を感 たミ正直に云はれて  
ゐるのも無理もないミ、さればこそ氏の大きな力の與つ  
て成つた事を感謝せずには居られないのである。運動員の  
擡まざる懇願もさるミながら、關屋さんを動かした因は  
もう一つあつたのではないか、ミいふのは丁度その頃から  
お子さんが幼稚園に來られるようになった。布袋さんの幼  
年時代を思はせるような坊ちゃんや、まこに淡々ミして  
而も世を樂しむミ云つたお嬢さんである。運動員に對して  
は餘儀なき強面も知らず、意外なミところで切り崩しが行  
はれたのではなかつたか、なミも思はれて微笑ましくも  
この講演を伺つたミである。

次は當時省外にあつて文部省を惱まされた側の山樹儀重氏の講演。今日の日曜を誠に有意義に過ごし得て嬉しいまづ述べられて、氏の幼稚園に對する強い熱い愛を示されたことは會員一同の喜びであつた。殊に歐洲を旅されて親しくフレールベルの生家や墓を詣でられたと聞く、かりそめの訪れで出来ることではない、朗々響く氏の言葉は、そのまゝ鼓舞の聲として力づくよくわれ々の胸を打つものがあり、わが國幼稚園界にこの人を得た幸福を今更のよように思はずには居られなかつた。

さて豫定の時はすでに過ぎたのであつたが、今日來賓として神戸よりはる／＼來會された望月クニ氏は一同の懇望により建議者を代表して登壇された。倦まず屈せず年毎にこの運動の手を強めて行かれた女史は、われ等の永久に感謝を捧ぐる中の一人であらう。壇上から心をこめて講演者に床しく挨拶された女史に一同は盛んな拍手を送つたのであつた。

この十周年記念について溢るゝ思ひを持つて居られる倉橋主幹のお話が伺ひたかつた、がこの時すでに遠く時を過



ぎてゐた事は返す／＼も惜しいことであつた。かくて今日の記念講演は大盛會裡に終つたのである。

なほこの新令公布について關係の濃かつた清水福市氏を始め膳眞規子女史なき講演者を中心に相集つてごく軽い晝餐を共にしたのであるが、その間にも當時の追懷を新たにして保育の物語りは盡きようともせず興

深いものであつた。

當時大いに活躍され、今日なほ九州地方の保育界に重きをされる天門成章氏始め大分縣保育界その他より祝電あり、この日遙なる彼方にての喜びを分たれたのである。

保育講習(二十二日より)

第一部

一 幼児の性情の涵養(十一時間)

東京女子高等師範學校教授 倉橋惣三君  
附屬幼稚園主事

一 幼稚園に於ける手技製作の實習(六時間)

東京女子高等師範學校 及川ふみ君  
保姆兼教諭

一 幼児に聽かせるお話の實際(二時間)

早 厥 幼稚園長 久留島武彦君

第二部(午後一時より四時まで四日間)

一 幼稚園に適切なる唱歌遊戯の實習(十二時間)

東京女子高等師範學校助教 戸倉ハル君

講演内容は別項記載の速記で讀んで頂きたい。たしか幼稚園令公布その年の講習であつたと思ふ、私達は倉橋講師

時間表

		第一部				第二部	
		8.....12				1.....4	
二十一日	倉橋	倉橋	倉橋	倉橋	戸倉		
二十二日	倉橋	倉橋	倉橋	倉橋	戸倉		
二十三日	倉橋	倉橋	倉橋	倉橋	戸倉		
二十四日	倉橋	倉橋	倉橋	倉橋	戸倉		
二十五日	倉橋	倉橋	倉橋	倉橋			
二十六日	倉橋	倉橋	倉橋	倉橋			

から「善良ナル性情ノ涵養」云々についていろいろお話をつたごを思ひ出す。あのバラック建ての、それでもまだ新らしかつた頃の遊戯室が會場であつたと思ふ、會員は廊下にも椅子を並べてゐた。盛んなものだと思つたが、たかゞ二百人位でもあつたらうか。それ以來十分迄迄はゆかずとも、さうやら踏みあやまることもなく幼児の心に觸れて來られたような氣もする。さて今年はどういふお話か、心ひそかに楽しみにしてゐたそれは、幼児の性情の涵養について、「性情」に「涵養」の詳細な解釋で、今まで何の

氣もつかず淡く耳に聞き流してゐて、わかつてゐたつもり  
の幼稚園令の第一條を今日こそ確り胸に刻み得たのであ  
る。「習慣ノ養成」ミ對比されたこゝで一層明瞭となり、彼  
ミ是ミ、かくも生活上の差異あるこゝをしみくゝミ教へら  
れたのである。教へられるこゝふより、この講師の話は、語  
るものミ聴くものミに濃淡の差はあつても、師ミ共に考へ  
ながら討究しながら聞かすには居られない深みを持つてゐ  
る。この師の心に一たび觸れた何物も決しておろそかには  
扱つて居られない。常に慎重に慎重を重ねて解かれたもの  
を以て私達を導いて居られるので、それは逆り出る泉水で  
はなく、渾々ミ地の底から湧き出る岩清水にも似ていよ  
いよ清らかに且つ深く考へさせられるのであつた。あいに  
く二十四日の午後からごく軽い暑さ當りにかゝられて、そ  
れはすぐに快くなられたが、一同の懇望によつて休んで頂  
く事になつたのは、いふ迄もなくこの講師の本意ではなかつた、  
が幼児教育の問題は多々ミして盡きない。この講師  
は健康で長く我々を導いて行かれる責めがあるようにも思  
はれる。休んでいただいたおかげミ云へばちミおかし

が、本校教授菅原教造氏からこゝの繪についてお話を伺  
ふこゝが出来た。美學の權威者で、わが國服飾界流行の先  
驅をされてゐる先生は、私達には勿體ないような話をして  
下さつた。安きになれてしばし安住の地に居た感もあり、  
この心もミなさに求めてゐたものにつては思ひがけない  
收穫であつたこゝを喜んだ。

今年は今留島先生からお話を伺ふこゝが出来た。先生は  
全國から招かれて、年の中大方は旅にお出でこまき、折よ  
くこの講習には来ていたゞくこゝが出来たわけである。講  
演を聞いてゐる中に膝のまはりに集つて來る組の子供達の  
顔が浮ひ出て來て、何ミなく上手な話し手になれそうなの  
信が出て來たように思はれた。

實際保育家が最も渴望してゐる手技製作は、及川講師が  
自ら作られたもので導かれた。講師は自ら安んずることな  
く、次々ミ工夫されてゆく、悠々迫らず、而も新らし味豊  
かな新作品が出来上つて行くのには常々勵まされてゐる。

遊戯は相變らず戸倉ハル師。この相變らずが意味深長ミ  
知り給へ。講演内容や、手技遊戯の材料は次々ミ新らしく

變つて行つても、講師は相變らずの人から講習を受けたい  
さいふのは我々ばかりでなく會員の等しく望むところであ  
る。同じ顔を並べてはミ講師側は遠慮されたが、何のなん  
の、相變らずの名コンビは望むところであつた。

はからずも今年も、談話、繪、手技の實際方面の知識を豊  
富に收得したミころの講習であつた。

二十六日正午めでたく閉會。

今年に記念講演と、保育講習とで、さうと話が決つてから隨

分忙しかつた。それにかれん、計畫はしてゐたが、本會發行  
の「系統的保育案の實際」も間に合せようといふ仕事も加はり  
鐵道の五割引も計畫を始めた。これが容易なことではなく、  
その煩雜な事務はとうていこゝに書きあらはし得ない。これ  
を利用された會員へは大そうな奉仕になつたけれど、そうな  
る迄の折衝はなみ／＼の苦勞ではなかつた。何しろその事を  
考へると及川さんが神經衰弱になつて廢られぬ夜があつたと  
が無かつたとかいふ位、そりや面白い、及川さんの神經衰弱  
は天下第一品の掘り出し物だと、倉橋主幹を始め一同が面白が  
つたけれどちきに解決がついてしまつたらしい。(新庄記)

## お詫とお禮

この夏の講習會中、暑さのため病氣いたし、突然講義を休み、まこに御迷惑をかけました。幸、菅原  
教授を煩はし、その缺を補つて頂くこゝが出来ましたが、私ミしても残念のこゝであり、遠く御來會下さ  
つた多數の會員諸君に對し、何ミも申譯ない次第でありました。

尙ほ、其の節、またその後、諸方から御懇篤なお見舞ひを受け、一層恐縮の至りです。病氣も一時のこ  
こでありましたし、直に恢復いたし、平常の健康で居ります。さうぞ御安心を願ひます。

よき秋を、いよく斯の道のために精勵いたしませう。

倉 橋 惣 三